健全で豊かな森林づくりプロジェクト　フォローアップ委員会　自己評価シート

プラン名	「長良川源流の森」健全化プロジェクト			作成日	20 年 11 月 17 日
実施方法	☑ 単独　☐ ＪＶ	所属	郡上森林組合	記入者	熊崎弘一

プロジェクトの対象・目的・内容

対象（誰を、何を）	目的（どういう状態にしたいのか）
組合員及びその他の森林所有者	切捨て間伐主体から搬出間伐へ移行

事業内容（どのような方法で、何を行うのか）

・施業地を集約化し素材生産コストの低減を図り、森林組合・森林所有者双方の利益につなげる。
・高性能林業機械の導入、作業路網の整備により利用間伐へ施業体系をシフトする。

事業期間	平成 19 年度　～　平成 23 年度（ 5 年間）					
事業費　／　年度	モデル団地への国・県・市町村補助金投入額（平成19年度決算）　※職員人件費を除く					
	森林整備関係	搬出補助関係	機械導入関係	治山関係	保安林整備関係	その他
予算執行額（千円）	1,779.0	750.0	28,014.0			
財源内訳　国・県費	368.0	375.0	13,340.0			
市町村費		375.0				
一般財源	1,411.0		14,674.0			
その他						

事業実績

	成　果　指　標	単位	１９年度 計画	１９年度 実績	２０年度 計画	２０年度 進捗
①	施業集約化	ha	4.7	30.0	44.9	48.0
②	植栽	ha				
③	下刈・除伐	ha				
④	切捨間伐	ha			6.0	16.6
⑤	利用間伐	ha	4.7	1.6	35.9	28.5
⑥	主伐	ha				
⑦	作業道開設（延長）　W= 3.0 ／ 3.6 m	m	／ 2,100	／ 1,760	／ 190	／
⑧	作業道開設(開設コスト)　W= 3.0 ／ 3.6 m	円／m	／	／ 5,782	／	／
⑨	木材生産量（モデル団地内）	㎥	632.0	250.0	4,486.0	2,600.0
⑩	木材生産量（モデル団地外）	㎥		5,670.0	300.0	600.0
⑪	木材生産性	㎥／人日	7.0	7.3	7.5	12.0
⑫	木材生産コスト（伐採～積込まで）	円／㎥	6,600.0	6,000.0	6,000.0	5,200.0
⑬	高性能林業機械導入	台	2.0	2.0		
⑭	伐採専門チーム養成	チーム	1.0	1.0	1.0	1.0
⑮	森林施業プランナーの育成（１名）	名	ﾌﾟﾗﾝﾅｰ１名養成	ﾌﾟﾗﾝﾅｰ１名養成	ﾌﾟﾗﾝﾅｰ研修参加	ﾌﾟﾗﾝﾅｰ研修１名参加
⑯	郡上森林づくり推進会議	回	活動報告１回	活動報告１回	検討会に参加	検討会２回参加
⑰	急峻な山腹の人工林は、帯状間伐等により、自然に近い状態に移行し環境林としてシフトする	ha	Ｈ１９計画なし	Ｈ１９実績なし	帯状間伐の実施	帯状間伐1.52ha実施
⑱	「里山の整備」区域は育成天然林整備等により環境林にシフトする（H23年度整備）	ha	Ｈ１９計画なし	Ｈ１９実績なし	Ｈ２０計画なし	Ｈ２０実績なし
⑲	森林組合ＨＰ及び広報誌によるＰＲ	回	組合だより、ＨＰに掲載	Ｈ１９実績なし	組合だより、ＨＰに掲載	組合だより、ＨＰに掲載
⑳	未整備林に対する施業（保育間伐）	ha	Ｈ１９計画なし	Ｈ１９実績なし	保育間伐の実施	保育間伐4.48ha実施
(21)	未整備林に対する施業（道作りﾏﾆｭｱﾙH23年作成）	ha	Ｈ１９ﾃﾞｰﾀ収集	Ｈ１９ﾃﾞｰﾀ収集	Ｈ２０ﾃﾞｰﾀ収集	Ｈ２０ﾃﾞｰﾀ収集
(22)	市・農林事務所と連携した普及の推進	回	組合員等へのＰＲ	PPの作成、ＰＲ４回	組合員等へのＰＲ	組合員等へのＰＲ実施３回
(23)	鳥獣害対策（H23年度）	回	Ｈ１９計画なし	Ｈ１９実績なし	Ｈ２０計画なし	Ｈ２０実績なし
(24)	郡上森林づくり推進会議による現地検証（施業ﾏﾆｭｱﾙH23年作成）	回	間伐ﾃﾞｰﾀ収集	間伐ﾃﾞｰﾀ収集	間伐ﾃﾞｰﾀ収集	間伐ﾃﾞｰﾀ収集
(25)	推進会議によるｱﾝｹｰﾄ調査の実施(H23年度)	回	Ｈ１９計画なし	Ｈ１９実績なし	Ｈ２０計画なし	Ｈ２０実績なし
補足説明						

1 達成度

【 自 己 評 価 】

配点	３点	２点	１点
プロジェクトは当初計画どおり実施されているか	☐ 実施されている	☑ 一部未実施	☐ 実施されなかった
当初設定した目標（生産コスト等）は達成したか	☑ 達成した	☐ 一部達成した	☐ 達成しなかった
進捗管理（定点観測等）は実施されているか	☐ 実施されている	☑ 一部未実施	☐ 実施されなかった

補足説明
・Ｈ２０年度生産性目標7.5m3/人日→12m3/人日
・Ｈ２０年度生産コスト目標6,000円/m3→5,200円/m3

【 委 員 評 価 】

コメント
・別添フォローアップシート参照

2 成果

【 自 己 評 価 】

配点	３点	２点	１点
木材生産の拡大が図られているか	☑ 図られている	☐ 一部図られている	☐ 図られていない
森林環境(動植物等)の改善を確認できるか	☐ 大いに確認できる	☑ 一部確認できる	☐ 確認できない
山地災害発生を抑止する工夫ができたか	☐ 工夫できた	☑ 一部工夫できた	☐ 工夫できなかった

補足説明
・止水エースによる路面浸食の防止

【 委 員 評 価 】

コメント
・別添フォローアップシート参照

3 効率性

【 自 己 評 価 】

配点	３点	２点	１点
コストや業務量に見合った成果が得られたか	☑ 得られた	☐ 一部得られた	☐ 得られていない
効率的な実施体制で推進されているか	☐ 推進された	☑ 概ね推進できた	☐ 推進できていない
積極的に民間活力を活用しているか	☐ 活用できた	☑ 一部活用できた	☐ 活用できなかった

補足説明
・作業路開設を民間に一部委託している。

【 委 員 評 価 】

コメント
・別添フォローアップシート参照

4 妥当性

【 自 己 評 価 】

配点	３点	２点	１点
地域住民（森林所有者）のニーズを反映しているか	☑ 反映している	☐ 一部反映している	☐ 反映していない
プロジェクトの計画内容(箇所･時期等)は適当であったか	☐ 適当であった	☑ 一部適当でなかった	☐ 適当でなかった
期待する人材は養成されたか（伐採専門チーム等）	☐ 養成された	☑ 一部養成された	☐ 養成されていない

補足説明
・伐採チームを新たに養成中

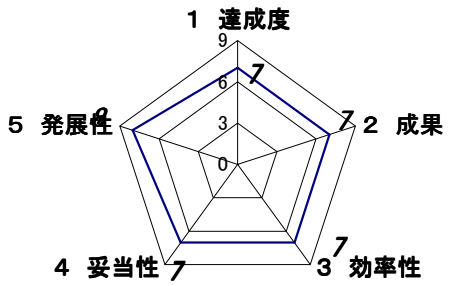
【 委 員 評 価 】

コメント
・別添フォローアップシート参照

5 発展性	【 自 己 評 価 】			
	配点	３点	２点	１点
	関係者(住民･所有者・従事者）の満足度は向上したか	☑ 向上した	☐ 一部向上した	☐ 向上しなかった
	選定委員会、研修等における指摘事項は十分対応できたか	☐ 対応できた	☑ 一部対応できた	☐ 対応できなかった
	上記以外にも成果向上のための改善余地はあるか	☑ 余地がある	☐ 一部余地がある	☐ 余地がない
	補足説明	・残存木の傷に対する研修を実施し、作業班の意識改革を図った。		
	【 委 員 評 価 】			
	コメント	・別添フォローアップシート参照		

自 己 評 価（集計）

評価集計			
	１ 達成度	２ 成果	３ 効率性
	7	7	7
	４ 妥当性	５ 発展性	合計点
	7	8	36
	総合評価	A	



総合評価：Ａ＝現状維持　　Ｂ＝充実・拡大　　Ｃ＝要改善

（配点区分：Ａ＝４５～３６点　　Ｂ＝３５～２６点　　Ｃ＝２５～１５点）

補足コメント	

フォローアップ委員会による総評

推奨方針（案）	☑ 現状維持	☐ 充実・拡大	☐ 要改善
コメント	・別添フォローアップシート参照		